

# No. 19 号 ひらつかの風

2021年3月号  
(令和3年)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

## CONTENTS

- P.1 ……………市民提案型協働事業説明会
- P.2～P.3 ……………団体レポート 『withコロナ時代の市民活動』
- P.4 ……………センター情報・平塚市情報

団体  
レポート

## 「withコロナ時代の市民活動」



### 平塚市情報

## 市民提案型協働事業説明会

令和4年度に実施する市民提案型協働事業の企画提案募集にあたり、説明会を開催します。  
行政提案型と合わせて市負担額1,000万円の範囲で新規提案を大募集！  
行政と力を合わせてまちの課題を解決する熱い提案をお待ちしております。お問合せ下記担当まで。

- 日時 ◆ 令和3年4月10日(土) 午後2時～午後4時
- 会場 ◆ ひらつか市民活動センター 会議室 定員 ◆ 25名(事前申込不要)
- 問合先 ◆ 平塚市役所協働推進課 市民協働担当 ☎0463-21-9618

★令和2年度実施事業の報告会もご参加ください！

- 日時 ◆ 令和3年5月12日(水) 午後2時～
- 会場 ◆ ひらつか市民活動センター



# コロナ禍での市民活動の取り組みや、実際の状況

## with コロナ時代の市民活動

### ～知恵と工夫で楽しく活動！

令和3年は緊急事態宣言の再発出そして延長と社会はこれまでにない大変な幕開けとなりました。そのような中、NPO/市民活動団体は感染予防対策の徹底やオンラインを導入するなど、それぞれ工夫しながら活動を続けています。今回は、ひらつかウォーキング協会の奥山さんとNPO法人平塚のら猫を減らす会の平田さんに活動の様子をお寄せいただきました。



#### 「コロナ禍の中でのウォーキングイベント」

ひらつかウォーキング協会 会長：鎌田登志美さん

ひらつかウォーキング協会では、コロナ感染症の拡大に伴い、お家時間が増大したことから、比較的高齢者の多いウォーキング仲間の健康増進を目的とし、少人数でのウォーキングイベントを月に2回開催しています。

これまでは100名から200名を集めるイベントを開催していましたが、密を避けるために少人数での企画に変更し、体温チェック、アルコール消毒、三密の防止などを踏まえて、実施をしています。

1月23日(土)、この日は生憎の雨の中でしたが、22名の市民の方が参加し、ストレッチ運動を行った後、紅谷町公園から、総合公園、



●出発前のストレッチ

福田寺などを經由し、金目の宗信寺(三郡共立学校跡地)、光明寺(金目観音)まで、約10キロのウォーキングを行いました。

参加者から「こうした企画を実施してくれることで、活力を取り戻している。」「何は無くとも健康第一、これからは継続して欲しい。」というようなご意見をいただいています。

緊急事態宣言が延長され、まだまだ心配はつきませんが、市民の健康増進に向けてこれからも取り組んでいきたいと思えます。(寄稿：奥山さん)



●体温をチェック！



#### 「企業とのパートナーシップによる譲渡会」

NPO 法人平塚のら猫を減らす会 理事長：平田昇さん

昨年、緊急事態宣言が出され、資金集めの街頭募金や街角バザーの開催も中止せざるを得ない状況になりました。また、会員同士のコミュニケーションの主な場だったひらつか市民活動センターでの定例会が人数制限でZoom併用開催になり、会議自体は滞りなく出来ましたが、ボランティア活動において一番大事な会員同士のコミュニケーションを取る場を失いました。

そこで以前より話を進めていた、オリンピック OSC 湘南シティ「ユアペティア平塚店」との提携による、店舗間の広大な屋内スペースを利用した譲渡会の開催に目をつけ、緊急事態宣言解除後にまず実験的に開催することにしました。

- ①スペースが広いのでコロナウイルス対策が容易なこと。
- ②ペット用品店、動物病院、生体販売店とペット関連の店舗が集まっており、来店者はほぼ動物好きな人が多いと予想出来ること。
- ③室内で温度管理が行き届いており、四季を通しての開催が期待できること。
- ④里親さんが必要な物をすぐ手に入れる環境があること。(売上げに貢献できる)
- ⑤募金箱やオリジナル猫グッズの販売も許され新しい資金集めの場になること。

⑥ある程度の会員が集まっても密にならず新しいコミュニケーションの場になり得ること。

等を考慮しながら開催しました。毎月第2日曜に開催を固定し実施したところ、「ユアペティア平塚店」さんの売上げも開催日は対前年比で10%以上増加しているとのことでした。当法人としてもこの上ない場所で安定して譲渡会を開催することができ、会員同士のコミュニケーションを取る場を確保でき、ボランティア活動に興味のある人からの問い合わせが、この場に来てもらい活動を見せながら話をすることで説得力のある話が出来ました。おかげさまで活動資金も会員数もコロナウイルスの影響を受けずに今期も推移しています。

第2回平塚市みんなのまちづくり事例表彰の当法人の応募もこの保護猫の譲渡会についてで、今年は年間大賞を受賞できました。

(寄稿：平田さん)



●譲渡会会場の様子



# とは??

取材しました!

## 『認定NPO法人 WE21 ジャパンひらつか』 理事長：重田裕子さん

### ■「布マスクが海を渡って」

WE21 ジャパンひらつか (以下、WE21) は、市民から寄付された衣類や日用品を販売する2つのリサイクルショップ「WE ショップ」を運営しています。リサイクル・リユースを進めるとともに、その収益で、主にアジアの女性たちが自立して暮らしていけるよう支援協力活動をしています。

フィリピンのシキホール島には平塚市の元小学校教員の原田さんが永住して子ども達の学習環境の支援を進めています。WE21では以前から交流のある原田さんを通じて文房具やピアノカ等を送る支援を続けています。(通常 WE21では物品を送る活動はせず、資金援助のみを行います。)

シキホール島には「モリンガ」と呼ばれる植物があり、原田さんはこれを特産物にしたいとお考えです。モリンガの葉にはビタミン、ミネラルなどの重要な栄養素が含まれているので、栄養不足な国、地域では大切な野菜として食されています。

WEショップにはコロナ禍対策で全国民に配られた皆さんご存知の『あのマスク』の寄付が続いています。



ある時、お一人の方から、一度に1,115枚ものあのマスクが寄付されました。友人たちが「使わないから」と集めたけれど行き先がなくて寄付したい、と。WE21ひらつかも人気のない大量のマスクに困惑したそうです。そんな折、シキホール島の原田さんからマスクが欲しいけど手に入りにくい・・・と相談が届き、WE21ひらつかは「送りたい!」と大喜び。モリンガは食品ですから、製造するときはマスクをして衛生的環境を整備したい、WE21はマスクの行き先に困っていた、両者の希望が一致。1,000枚のマスク(ダンボール3箱)を送ることができました。無論まだ残りの115枚もあるし、まだ寄付も続けている、でもきっと役に立つときが来るはず・・・と笑顔でした。シキホール島、と検索すると島での原田さんの活躍が分かるから、と、つながっているWEショップの皆さんの自信が伝わりました。

緊急事態宣言で休店している間「お店はいつ開くの?」という声は何度も届いたそうです。

WEショップは、地域の大切な「場」であることを改めて実感しました。

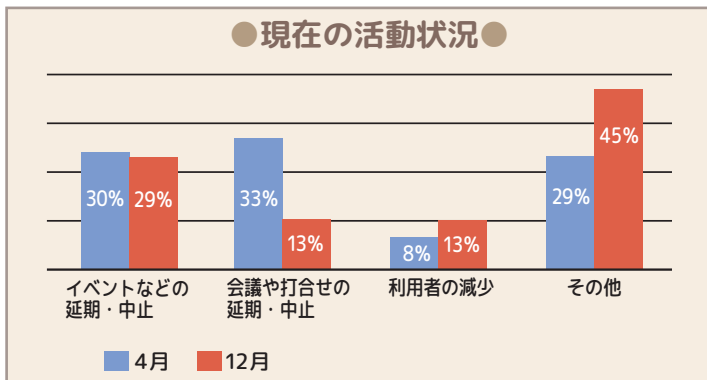
(文責：谷澤)



ご協力ありがとうございました!

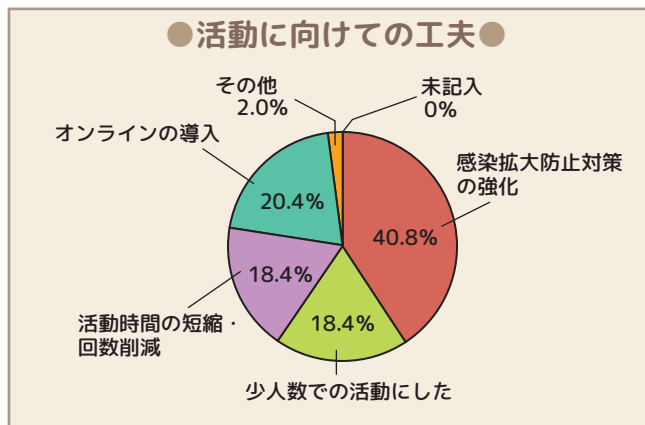
## 「新型コロナウイルス感染拡大の影響における団体アンケート」

令和2(2020)年4月及び12月に実施した、新型コロナウイルス感染症に対する各団体の現況についてのアンケートにご協力いただきありがとうございました。センターWEBサイト等でも公開していますが、概略をお知らせいたします。



4月時点ではイベント・会議等が軒並み延期・中止となりましたが、12月時点では改善傾向が見られました。

活動に向けての工夫点は、感染拡大防止対策の強化が41%を占めており、オンライン(Zoom)の導入も増加傾向にあります。情報収集のためのツールとしてスマホ



の使い方やオンライン交流のためのZoomに関するサポート依頼が増えています。

※令和3(2021)年1月に緊急事態宣言が再発出されましたが、感染対策等の実績を踏まえ徐々に団体活動が日常に戻っていくと思います。(文責：長谷川)

センター情報

● 団体活動にお役立てください!

ひらつか市民活動センターの2021年度の事業概要をご案内いたします。

イベント	センターまつり(11月予定)
講座	NPO 設立講座・NPO 実務講座・市民活動応援講座・NPO マネジメント講座 (適宜開催)
交流	まちづくりミーティング(適宜開催)・NPO@リレートーク(適宜開催)・団体交流会
NPO・市民活動相談	■ 専門相談(随時:まずはご一報ください) ■ 窓口相談(センター開館日 9:00~21:30)

※詳しい日程・内容は決まり次第ホームページ・情報紙・メールマガジン等でお知らせします。

**お知らせ** 毎年実施していた『夏のユースボランティア』は、令和3年度も中止とさせていただきます。

まちづくりミーティング「協働のイロハ」

今やまちづくりに「協働」は欠かせない時代になってきました。協働を推進していくために、今一度皆さんと一緒に「協働」について話し合ってみませんか?

- 日時 ● 4月14日(水) 18:00~20:00
- ゲスト ● 「NPO法人 ぜんしん」理事長 柳川涼司さん
- 会場 ● ひらつか市民活動センター
- 対象 ● NPO 法人・市民活動団体・関心のある市民
- 定員 ● 10名 参加費 ● 無料



NPO@リレートーク「課題を持つ子どもたちに明るい未来を~支援者を支える~」

第1回目は、課題をもつ子どもたちの将来を明るいものにしたいと様々な活動を展開している「NPO 法人 しえんのまなび舎」理事長の高梨さんから、お話をうかがいます。

- 日時 ● 4月25日(日) 14:00~15:30
- ゲスト ● 「NPO法人 しえんのまなび舎」理事長 高梨聡美さん
- 会場 ● Zoom によるオンライン
- 対象 ● NPO 法人・市民活動団体・関心のある市民
- 定員 ● 20名 参加費 ● 無料



● 新規登録団体のご紹介 ●

新たに2つの市民活動団体が仲間入りしました。どうぞよろしくお願いたします。

- ★平塚市美術館湘南フレンズ倶楽部 (令和2年8月登録)  
.....平塚市美術館を鑑賞者として支えるサポーターの集まりです。
- ★安心・安全を考える会 (令和2年11月登録)  
.....防災意識を高め、安心・安全なまちづくりを推進します。

※ひらつか市民活動センターのHPに詳しい情報が載っています。

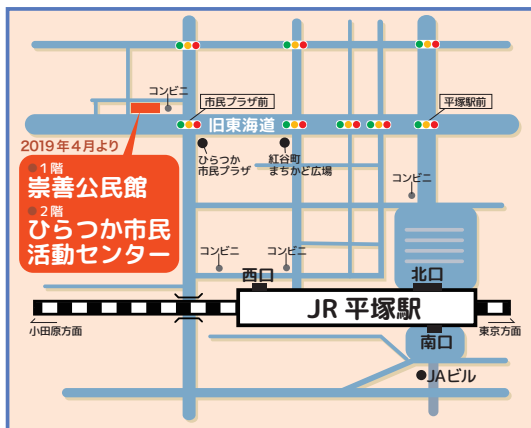


平塚市 市民活動団体

検索!

編集後記

緊急事態宣言が延長になり、コロナ禍の中で団体活動において大変厳しい状況が続いていますが、センターでは今出来る支援を考えつつ、少しでも早く皆様とお会いできる日を待っています。皆様、体調に気を付けてお過ごしください。(正)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00~22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045  
神奈川県平塚市見附町1-8  
TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601  
Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net  
URL ● <http://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数 (2021年2月15日現在)

登録団体数 ● 480 団体

(内訳 市民活動団体...333 団体、一般団体...147 団体)

